

礼拝メッセージ (9月23日)

『働きの違い』～あなたのすべき事を行う～

【I 歴代誌 22:5～13】

神様を信じる私たちはイエス様が築いて下さった歴史を引き継いで行く、ヒストリーメーカーです。その為に私たちは自分のすべき事をまず知る必要があります。ダビデは神様の為に幕屋を造りました。そしてもっと素晴らしい神殿を造りたかったのですが、その事は神様がダビデに望んでいる事ではありませんでした。ダビデは神様の思いを良く理解し、自分がすべき事を良く知っていたので、素晴らしい神殿を造るという思いは息子のソロモンに託しました。そして息子のソロモンは神様の為に素晴らしい神殿を造りました。ソロモンは神様に知恵を求めました。その求め通りソロモンは知恵を与えられ何事にも思慮深く決断をしていく事ができました。その時の一時的な感情で決断するような事はしませんでした。この2人を見てもわかるように、人にはそれぞれしなければならない働きがあり、それを知り実行していく事、思慮深く決断していく事が大切なのです。私たちはどうでしょうか？何を支えに何を頼って決断しているのでしょうか？人の声に頼ったり、感情にまかせて決断してしまう事が多いのではないのでしょうか。自分の人生を決断していくのに、そのような不安定で変わっていくようなものを支えにしている必要は決断はできません。あなたの判断基準が自分が何をすべきか分かっていない上で成り立っているのなら、それはとても危険な事です。神様が私たちに与えて下さっている働きはそれぞれ違うのです。私たちには素晴らしい個性があり、それを生かさず手はないのです。私たちはすぐに人と自分を比較します。うらやんだり、ひがんだりします。自分の役割を知らないとそれらのマイナスな感情だけが大きくなってしまいます。自分の役割を知り、しっかりと自分を持つことは私たちの生きる力になります。自分の役割をしっかりと握っていないと自分の感情や周りの声にすべき事を奪われてしまいます。私たちが失敗する時を振り返ってみると、多くの場合は軽はずみにやってしまった時や感情的に決断してしまった時ではないでしょうか。この世の中でもが冷静にしっかりと考え行動した事はその多くが問題なくクリアできているはず。であるなら、神様を信じる私たちならばなおさら、すべき事を神様に求め実行すれば私たちの決断に失敗は無くなるという事がわかりますよね。私たちがすべき事に対して恐れず雄々しくあるなら、神様から思慮と分別が与えられます。(I 歴代誌 22:13)しっかりとすべき事から逃げずに行動しましょう。私たちが勇気を持って行動したらどのような事が得られるのか、①**達成できる力を得る**。(ローマ 8:26)「弱い私たち」の「弱い」は「結果が出せない」事を意味します。「結果が出せない私たち」が神様に頼り自分のすべき事を行動に移すなら、神様が私たちを結果が出せる環境に移して下さい。神様に開かれた扉に勇気を持って踏み出すなら私たちは達成できる力を得るのです。②**結果を得る力を得る**。(ローマ 8:27)もしかしたら一時的な結果は悪く見えるような時があるかもしれませんが、しかし、神様は全ての事を働かせて益として下さいます。私たちが思うよりはるかに素晴らしい結果を与えて下さるのが神様です。③**実を残す力を得る**。あなたが信じて恐れずすべき事を行えばこの3つの力を必ず得る事ができます。あなたにとってすべき事は、もしかしたらしたくない事かもしれませんが、そんな時はマイナスな結果ばかりを想像して簡単で無難な方へ逃げてしまいたくなるのが私たちです。しかし、そんな時こそ3つの得られる力を思い出して下さい。あなたが信じてすべき事を行うなら、既にこれらの力を与えられている事を実感する事ができるでしょう。